



▲8月23日に開催した水防避難訓練(①新型コロナウイルス感染症に対応した避難場所開設訓練での段ボール製ベッド・間仕切りの設置②浸水の恐れがある区域から区域外の安全な地域への広域避難訓練。市内で初めて実施③関原、日越両地区の住民など約180人が参加)



台風シーズンに向けて 家庭で災害への備えを

信濃川が観測史上最高の水位に達し、市内に大きな被害をもたらした昨年10月の台風19号。今年も、台風季節がやって来ます。市の「洪水ハ

ザードマップ」※で避難行動をもう一度確認してください。また、市は高齢者向けに、避難情報などを固定電話に配信します。ぜひ活用してください(左枠)。

この他、非常用持ち出し品を確認するなど、自分や家族の命を守るための準備を進めましょう。

固危機管理防災本部
☎39・2262

介護施設へ避難用具などを支援
浸水の恐れがある区域内に立地する介護施設の災害対策を支援します。入所、居住系の80施設に、リフト、ストレッチャーなどの避難用具や災害備蓄品の購入費、避難確保計画の策定や研修会開催のための経費を補助します。
☎39・2245

事前に登録を 固定電話に 避難情報が届きます

避難勧告などの「避難情報」や「信濃川早期警戒情報」を固定電話に配信します。受話器を取るとメッセージが流れます。
対象=次の全てに該当する世帯
①携帯電話やスマートフォンを持っていない65歳以上の高齢者がいる
②防災行政無線の戸別受信機または緊急告知FMラジオが貸与されていない
登録方法=Aオーレ長岡総合窓口、各支所地域振興課にある申込書で(随時受け付け)



※「洪水ハザードマップ」は市政だより6月号と一緒に配布済みです。市のホームページでも確認できます

市町村による原子力安全対策研究会 感染症対応を含めた 原子力安全対策を要望

☎39・2305



市町村約60人が参加した研究会

県内全30市町村で構成する「市町村による原子力安全対策に関する研究会」は、実務担当者の研修会を8月21日に開催しました。

代表幹事の長岡市長からは、事業者が「感染者が出た場合でも、発電所が適切に運営されるよう安全対策には万全を期してもらいたい」、国には「発電所の審査結果を県民や自治体に丁寧に説明してほしい」と要望。国からは「住民を対象とした説明会を行って、自治体からの要望を踏まえて検討していきたい」と説明がありました。

また、市町村の質問に対し、県からは「感染症対策も踏まえた訓練を実施し、得られた知見を計画に反映していきたい」、「技術委員会などの3つの検証後、どのようなプロセスで市町村の意見をお聞きしていくのか、適切な時期に示せるよう対応していきたい」と回答がありました。

市は今後も、研究会を通じて国・県、事業者などと連携し、原子力安全対策にしっかりと取り組んでいきます。

若者による元気なまちづくり 地域活動団体

自分たちの住む地域を元気にしようと、自発的に活動する人たちがいます。若い力とアイデアで地域を盛り上げ、活気あるまちを目指しています。

中之島



次世代につなぐために 動くのは自分たち

中之島地域
ふるさと創生基金事業
実行委員会委員長
関口 和幸さん

若者がつながる交流の場づくりを進めようと、昨年度からワークショップ形式の「なかのしま若者会議」で話し合いを重ね、今年から本格的に活動が始まりました。

立ち上げてすぐに感染症という問題に直面しましたが、失敗を恐れずにチャレンジしていけるのは新しいチームだからこそ。地域内にイルミネーションを設置する計画を立て、今の自分たちにできることを模索しています。

次の世代につなぐためには、誰かに任せるとはならず、自分たちが動かなければならないと感じています。今後も若い世代を取り込み、「若者が楽しく過ごせる地域」であることを中之島の新たな魅力として磨いていきます。



▲なかのしま若者会議(8月19日)

三島

楽しいアイデアで 地域に恩返しを



三島でつながる仲間を増やそうと、大人から子どもまで楽しめるイベントを企画しています。にぎわいが生まれることを喜んでもらったり、地域の企業がスポンサーになってくれたりと、地域のみなさんにも活動を応援してもらっています。

感染症の影響でイベントの開催が難しくなっていますが、お化け屋敷やドライブスルー形式の企画など、やってみたいことはたくさん。出てきた意見は否定せず、知恵を出し合い実現を目指しています。

生まれ育ち、好きなことをやらせてくれる地域に恩返しをするために、これからも楽しいアイデアで地域を盛り上げていきたいです。



▲約600人が来場し親子連れなどでにぎわった「みしま★ゆるふわばらだす」(昨年8月24日、三島中央公園)

「与板町ほたるを守る会」が環境大臣表彰を受賞



▶千体川のごみを集める
与板町ほたるを守る会

与板町ほたるを守る会が地域環境美化功労者・環境大臣表彰を受賞しました。与板地域を流れる千体川の清掃活動を続けてホタルの生息環境を守るとともに、ホタルを通じて実施した地域内外の交流などが評価されました。

会長の坂井健一さんは「これからも環境維持に努め、千体川を飛び回るホタルを未来へ引き継いでいきたいです」と語りました。